

102-258

問題文

36歳女性。乳がん手術後、以下の薬物療法が開始された。

(処方)

1) 錠 10 mg 1回2錠 (1日2錠)
1日1回朝食後 28日分

2) 注射用 3.75 mg 全1本
1回3.75 mg 4週間ごとに1回 皮下注射

この処方の服薬指導として、[A]は、子宮体がんのリスクを上げるため、定期的な検査を行うよう患者に指導した。また、[B]は、ほてりやのぼせ、抑うつなどの更年期症状がみられることがあると患者に説明した。

問258

[A]と[B]に当てはまる薬剤はどれか。2つ選べ。

1. リュープロレリン酢酸塩
2. レトロゾール
3. トラスツズマブ
4. タモキシフェン
5. テガフル

問259

[A]の薬物の作用機序として正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 乳腺のエストロゲン受容体(ER)を遮断する。
2. ヒト上皮増殖因子受容体2型(HER2)を遮断する。
3. アロマターゼを阻害する。
4. 活性酸素を発生させ、DNA鎖を切断する。
5. ギナドトロピン放出ホルモン(GnRH)受容体を刺激する。

解答

問258 : 1, 4問259 : 1

解説

問258

問259 とまとめて解説します。

問259

まず、36歳ということで閉経前と考えられます。また、処方2)の用法が「4週ごとに1回の注射」であることから選択肢を参考にすると、Bはリュープロレリン酢酸塩と判断できると考えられます。

残りはAです。問258 選択肢2～5について以下、検討します。

選択肢2ですが

レトロゾール(フェマラ)は、「閉経後」乳がん治療や、不妊治療に用いられるアロマターゼ阻害薬です。よって、選択肢2は誤りです。

選択肢 3 ですが

トラスツズマブ（ハーセプチン）は、HER2 タンパク特異的分子標的薬です。HER2 過剰発現が確認されておらず本問では当てはまらないと考えられます。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい記述です。

タモキシフェンは、ER 受容体遮断薬です。

選択肢 5 ですが

テガフルは、フルオロウラシルのプロドラッグです。乳がんにも用いられることはありますが子宮体がんのリスクを上げる ということはありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問 2 5 8 の正解は 1,4 です。

問 2 5 9 の正解は 1 です。

ちなみに、問 2 5 9 の他の選択肢ですが

選択肢 2 は

トラスツズマブの作用機序についての記述です。

選択肢 3 は

レトロゾールの作用機序についての記述です。

選択肢 4 は

問 2 5 8 の選択肢にはありませんが、ブレオマイシン等の作用機序についての記述です。

選択肢 5 は

リュープロレリンの作用機序についての記述です。

参考)